

日	月	火	水	木	金	土
1日 救命救急講習会	2日 あいさつ運動	3日	4日 センター長会 (市役所)	5日	6日	7日
	習字教室		輝らきら体操 (交流)			
8日 衆議院議員選挙 最高裁判所裁判官 国民審査	9日	10日	11日 建国記念日	12日 ☕ コミカフェ 稗原まちづくり ビザン検討会議	13日	14日
15日 地区卓球大会	16日	17日	18日 南部ブロック研究会 (稗原 CC) 小学校地域学校 運営理事会	19日	20日 広報配布 自治会長会 南中地域学校 運営理事会	21日
	習字教室	まめな教室 (交流)	輝らきら体操 (交流)			
22日 子育てフェス (のりまきづくり) (交流)	23日 天皇誕生日	24日	25日 ワンステップ (花の寄せ植え)	26日 ☕ コミカフェ	27日	28日
			輝らきら体操 (交流)			

ワックスがけを下記のとおり予定しています。
この期間は、施設の利用ができません。
ご理解、ご協力をお願いします。



【コミセン】
3月19日(木) 午後～22日(日)
【交流センター】
3月19日(木)～20日(金)



※ 上記は、1月中旬時点の予定であり、追加および変更されていることがありますので、ご了承ください。

こーのこらむ

◆はばかり、雪隠(せっちん)、厠(かわや)、手水(ちょうず)など便所を示す日本のことばは多い。その時代の語源がそれぞれのことばにはあるようだ。◆日本の水回りの施設は実にすばらしい。特にトイレは進化し続けた結果、居心地のいい空間となっている。また、温水洗浄便座の登場により大腸がんの発症率が低くなったともいわれている。◆外国のすばらしいホテルでも水回りとなるとイマイチかな?とも感じることもある。やはり日本の環境は最高だと言える。◆ユニットバスは1964年の東京オリンピックのホテルや選手村のバスルームに採用され、以来、建築方法・手段の主流となっている。◆学校の便所といえば、自分の頃は、汚い、臭い、寒いが揃い踏みしたような環境で行きたくない場所だった。その頃はいわゆるポットンベンジよである。それから水洗に生まれ変わったのであるが、それでも今の子ども達は和式のトイレを使ったことがなく、小学校入学時にはトイレの使い方も説明がなされるようだ。◆数年前、稗原小学校のトイレには1カ所にひとつずつ洋式の便器が設置された。バリアフリー化のひとつであり、こうした生活環境の改善は大いに推進していただきたい。◆さらに昨年8月には応募した「小学校に洋式トイレプレゼント!」に当たり、体育館トイレが実に清潔感漂うすてきなトイレに変身した。

センター長 高野 正次

集う・学ぶ・繋ぐ コミュニティセンター報

2026

1月号 No.366



稗原地区の世帯と人口

令和7年12月末現在(前月比)

世帯数 538戸(+2)

人口 1,436人(-1)

(男) 711人(-1)

(女) 725人(+0)

【発行】稗原コミュニティセンター

TEL 48-0001 FAX 48-0048



hiebara-cc@local.city.izumo.shimane.jp

稗原コミュニティセンター

検索



新春餅つき大会 1/21(水)

毎年恒例となりました「新春餅つき大会」を行いました。

稗原幼稚園の園児と稗原小学校5年生の皆さんが、田植えから稲刈りまで丹精込めて作ったもち米を使い、童々クラブの子どもたちも加わって6升のお餅をつきました。

この日は朝方から降り始めた雪が、餅つきの時間帯にはコミセン前で5cm超の積雪となりました。大寒に入って2日目ですが、この時期らしい景色となりました。餅の需要が日本では減ってきているといわれていますが、5年生に聞いたところではほとんどの家庭で臼・杵を使った餅つきや餅つき器での餅づくりを体験していて、稗原では餅を食す文化が残っている実感を持ちました。この餅つき大会をもって、田植えからの一連の米作り体験は「完」ととなりました。餅作りのサポートをしていただいた皆さんをはじめ、これまでに多くの皆さんのご協力をいただいたことに紙面を借りてお礼申し上げます。

